

第1回山口県中学校新人体育大会

バレーボール競技運営マニュアル

1 会場の利用について

【男女会場、両日】

- ・観客は各校12名まで（試合ごとに入れ替え可、小学生以上は観客数に含む）とします。また、ユニフォームを着用しない部員の入館は可とします。出場チームの選手・部員、教職員は、入館時に受付で「学校同行者体調記録表」（別紙2）を提出。観客は「来場者体調記録表（別紙3）」を受付でまとめて提出してください。観客及び、試合のない選手・部員の入替えについては、各会場の係員の指示に従ってください。ご理解とご協力をお願いします。
- ・競技フロア以外の館内でのウォーミングアップは禁止します。試合までの待機、ウォーミングアップについては、各会場の係員の指示に従ってください。
- ・試合を録画する場合は、観客席に入場できる大人で行ってください。また、録画した映像をネットワークに公開したり、リアルタイムでの動画配信をしないように管理をしっかりと行ってください。

2 選手、役員の大大会参加について

○下記に示されている提出書類、「別紙1～5」のファイルは、以下のページに掲載されています。それをダウンロードして活用してください。

「山口県中学校体育連盟」⇒「秋季県体（県新人大会）」

① 7日前（10/1土）～前日（10/7金）

	参加チームの選手・部員、教職員、ベンチスタッフ	左記以外の観客（保護者）、教職員、役員、管理職、外部審判 等
前日まで	健康チェック、行動履歴を毎日記録する。「体調記録表（別紙1）」、「行動履歴書（別紙4）」は、各自またはチームで保管 「参加同意書（別紙5）」は、各校で保管	健康チェック、行動履歴を毎日記録する（別紙1）（別紙4）

② 当日（10/8土・9日）朝～、昼～受付

- ・入館前に、各会場の受付において、チームでまとめて「学校同行者体調記録表（別紙2）」を提出し、設定時間にそって入場してください。
- ・それぞれの場所では、大会役員の指示に従い、密の状態にならないようご注意ください。
- ・受付終了後、チームスタッフ（監督・コーチ・マネージャー）は、必ず規定のマークを左胸に付けておいてください。競技フロアに入場する際に確認します。

	参加チームの選手・部員、教職員、ベンチスタッフ	左記以外の観客（保護者）、教職員、役員、管理職、外部審判 等
入館前	自宅で健康チェックを行う。 受付時刻を考慮して、会場に来る。 選手は、引率の先生に健康状態を伝える。 チームでまとめて、「学校同行者体調記録表（別紙2）」の記入を行う。	自宅で健康チェックを行う。 受付時刻を考慮して、会場に来る。 「来場者体調記録表（別紙3）」の記入を行う。
受付時	監督は、体育館入り口の受付で別紙2を提出する。フロア内の受付で大会参加料、試合球を提出する。 ※キンビバレッジ会場は、外階段を通過して、「2階入り口」からの入場する。	体育館入り口の受付で別紙3を提出する。 ※キンビバレッジ会場は、外階段を通過して、「2階入り口」からの入場する。
受付後	館内で静かに待機、または、屋外でウォーミングアップ 再入場時は、チームでまとめて入場する。	係員の指示に従い、屋外または、観客席で待機する。

【入館することができない場合】

- ・「別紙2」「別紙3」を提出できない場合
- ・体調不良（発熱、咳、喉の痛み、息苦しさ等）の場合

③試合前～試合中、試合間

- ・試合会場に入るときに消毒を行い、試合前や試合間のアップについても3つの密に気をつける。
- ・観客席から声を出しての応援はしない。選手についても、複数で声をそろえての応援はしない。
※周南市総合スポーツセンターでの観戦については各コートの観客席2列目までとする。
- ・プレイ中や得点后、インターバル時間等に行うチームパフォーマンス（声を合わせた応援、手のひらでのタッチ、肩を組んでの円陣、抱きつき等）は行わない。
- ・試合開始・終了時の挨拶は、エンドライン上で行う。
- ・試合中（前後含む）の円陣は、密にならないようにする。
- ・原則、大会会場内はマスク着用とする。
（ア）試合前のウォーミングアップ中のスタッフ・選手や試合中のコート内の選手はマスクを着用しなくてもよい。（試合中、スタッフやベンチ、アップゾーンの選手はマスクを着用する）
（イ）試合中の審判、関係役員は、可能な限りマスクを着用する。（電子ホイッスル可）
- ・タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用はしない。

④試合終了後

- ・役員は、ベンチ（コートチェンジの度に各チームで）、試合球、ラインジャッジフラッグ、得点板などの共用の道具や観客席の消毒を行う。
- ・選手・スタッフはベンチ等の消毒をおこない、競技フロアから速やかに退出する。順次、譲り合って密にならないように移動する。（観客等の退館については、各会場の係員の指示に従う。）
- ・大会後のミーティングについては、3つの密にならないように行う。
- ・会場には不必要に残らず、速やかに解散するように各チームで徹底する。（敗者審判の有無を確認する）

⑤物品の管理について

- ・外履きを持ち込むための袋を持参し、下足箱の利用は控える。
- ・ゴミは各自、各チームで確実に持ち帰る。特に、汗や鼻水、唾液などが付いたゴミや使用済のテーピングなどは、ビニール袋に入れ密閉して持ち帰る。また、作業後は必ず石けんと流水で手を洗い、手指を消毒する。

3 基本的なコロナ感染症対策として

①手洗い・咳エチケット

- ・外から会場等に入る前、トイレ使用后、昼食の前後に加え、共用の用具（ボールやラインジャッジフラッグなど）使用后には、選手等に対し流水と石けんで手を洗うように指導する。
- ・咳エチケット
（①マスクの着用、②ハンカチ等で口・鼻を覆う、③袖口で口、鼻を覆う）を徹底する。
- ・集団感染のリスクを避けるため、特に屋内では、不必要な会話を避け、近距離での会話や発声が必要な場面では、マスクを着用するよう指導する。

②フロアなどの環境・換気

- ・感染防止の「3つの密」（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、密接な近距離での会話や発声）が重なる場を極力つくらない。
- ・試合以外の場において、可能な限り、荷物の管理や更衣の場所など1メートル以上の距離をとる。
- ・出入り口の制限や待機座席の指定などを行う。

③施設や用具の消毒等

- ・選手等が特に多く手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ、ボール、ラインジャッジフラッグなど）は、定期的に消毒液（次亜塩素酸ナトリウム希釈液や消毒用エタノール等）を利用して清掃を行う。

④その他

- ・持ち帰り用のビニール袋を持参し、使用後のマスク及び口や鼻のまわりを拭いたティッシュペーパーについては、持ち帰る。
- ・タオル及びハンカチを持参し、他人との使いまわしをせず、こまめに手洗いをする。

4 緊急時の対応

①感染症が疑われる発熱や体調不良が発生した場合の対応

- ・全試合を中断する。
- ・救護室等での一時休養は行わない。
- ・濃厚接触者の特定をし、検温等、体調確認をする。
- ・保健所等に相談し、指示を受け病院へ搬送する。
- ・原則、保護者への引き渡しをする。時間を要する場合は引率者への引き渡しをする。
- ・安全が確認できるまで、全員へ待機や会場から退避等の指示をする場合がある。

②大会終了後の発熱について

- ・大会終了後も引き続き、健康観察を行う。
- ・大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに状況(氏名、症状、行動の履歴など)について報告する。

5 その他

①個人情報の取り扱いについて

今回得た個人情報について、個人情報保護法に基づき適正に取り扱い、次の目的以外には利用しない。

- ・万が一、感染症陽性者及び感染の疑いがある者が発生した場合、濃厚接触者の早期発見と早期対策を講じるため
- ・濃密接触者への早期対策で、保健所及び教育委員会へ相談・報告を実施するため

②各会場での安全管理について

各会場では、本マニュアルの内容、大会運営者の指示に加え、**施設管理者の指示にも従わなければならない。**